

## テキスタイルフロア7000<sup>りょうお</sup>涼織のご注意

- 下地に段差・隙間・凹凸のある場合、その程度によってテキスタイルフロアの表面にそれらが目立って現れたり、目地部分に段差が生じたりする場合があります。目地部に段差があると目地部分のホヅレ、毛羽立ち、傷みの原因にもなりますので、平滑な下地に施工してください。
- 重量物を落下させたり、引きずった場合、表面が白くなることがありますのでご注意ください。
- 表面の柄に多少の曲がり等が見られる場合があります。これは素材感の表現に実際の織物を使用しているために生じていますのでご了承ください。
- 一部で色ムラのように見える場合がありますが、これは織物の素材感を実現するためのものです。ご了承ください。

### 選択上のご注意

- 各種マークの詳細は「東リ総合カタログ」をご参照ください。
- 住宅用に開発された製品です。土足での歩行は避けてください。
- 防ダニ加工マークは、防ダニ加工処理の有無を示しています。しかし、カーペットなど内装材によって完全な防ダニ効果を得ることは不可能です。日常メンテナンス・換気などに充分配慮してください。
- 建築基準法・消防法によって、使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認ください。
- 床暖房下地上に敷設した場合は、床暖房の昇温に時間を要します。
- 繊維製品ですので、実際の厚みは表記と多少異なることがあります。ご了承ください。
- 当カタログの掲載写真の一部に合成写真を含まれます。
- 当カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認ください。
- 当カタログは2024年7月現在のもので、予告なしに変更することがあります。

### 施工上のご注意

- 施工の前に「東リファブリックフロア施工マニュアル&お手入れ読本」および「東リ総合カタログ」をご一読ください。
- 開封後、製品の端部から繊維クズがこぼれることがありますが、品質には問題ありません。施工前に繊維クズを落としてから施工してください。
- 取外した後、滑りやすくなることがあり危険ですので、ファブリックフロアの階段での使用は避けてください。
- 塩ビ系床材仕上げの床暖房下地に敷設すると、吸着材によって下地床材が変色することがあります。床暖房の場合は表面仕上げ床材の種類をご確認の上施工してください。
- 全面接着工法の場合、下地は湿気のない平滑かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。施工条件を遵守しなかった場合、ファブリックフロアの目地スキや突上げ、膨れなどが発生する可能性があります。
- 部分敷きの際、端部の段差が気になる場合は別売りの「FF木目見切材」・「FFコーナージョイント」をご利用ください。
- 施工後に、台車の往来や家具の移動によって過酷な負荷がかかると、パイルを傷めたり剥がれたりする場合がありますので、合板などで養生するなど配慮してください。
- 全面接着工法で施工した場合、取外す際に、裏面の吸着加工が下地に残ることがあります。また、裏面の吸着加工の効力は低下します。木床（木質フローリング）や塩ビタイルなどの床材の上に再施工できませんのでご注意ください。

**！** 使用済みのファブリックフロアやパネルカーペット、施工残材などを破棄する場合は、条例や自治体の決まりに従って処分してください。ファブリックフロア、パネルカーペットを燃やすと有害ガスが発生します。

- 裏面に吸着加工を施していますので、フローリング、クッションフロアなどが下地の場合は接着剤を使用することなくそのまま敷きで施工していただけます。ただし、下地床材に傷がある場合や強度が弱い場合は、下地床材表面を傷めることがありますのでご注意ください。

- フラットな表面形状の製品と比べ、表面に繊維製品特有の凹凸がありますので、汚れが残りやすくなります。ご注意ください。
- 水分に長時間触れたまま放置すると表面が白くなることがあります。この現象は品質には影響ありません。水分の原因を取除くことで、時間の経過とともに乾燥し白化は消え、元通りになります。
- 目地部や部分敷きの際の端部などで表面の繊維の一部にホヅレが見られる場合は、早めにハサミ等でホヅレた部分を必要最小限に切り取ってください。無理にホヅレ部分の繊維を引き抜いて取除こうすると、ホヅレがより大きく広がりますのでご注意ください。
- ブラシ付き真空掃除機およびロボット掃除機を使用する際はパイルを損傷する可能性がありますのでご注意ください。なお、ロボット掃除機の使用に関しては各家電メーカーの使用上の注意をご確認ください。

- フローリングの種類によっては吸着しにくい場合があるため、事前にサンプルにてお確かめいただくことをおすすめします。

### メンテナンスならびに使用上のご注意

- 汚れが付着した際には、汚れが広がらないよう注意してすぐに拭取ってください。時間の経過とともに除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。
- パイルや平織りの繊維がホヅレた際には、伝線を防ぐためにもホヅレた部分をすぐにハサミでカットしてください。
- 美観の維持およびホコリ防止のため、歩行量に応じて電気掃除機あるいは真空掃除機による日常メンテナンスを行ってください。
- 洗った後は、完全に乾燥させてから使用してください。水分が残ったまま使用あるいは収納すると、変形・変色・変質・パイルの損傷・カビなどを招きます。
- 乾燥・保管は、平坦な場所で行ってください。変形の原因になります。

**！** 洗濯機による洗濯・脱水は行わないでください。洗剤を用いて手洗いする際には充分すすぎを行ってください。乾燥機による乾燥は行わないでください。

- 製品固有の臭いが滞留しますので、お風呂場等で洗濯する場合は換気を心がけてください。

- ドライクリーニングはできません。水洗いの際は指定の洗剤を使用してください。洗剤を用いて手洗いする際には充分すすぎを行ってください。
- 家具などの局部荷重により、へこみ跡が残る可能性があります。
- シミとり剤・漂白剤・カビとり剤などは、パイルを変形させる可能性があります。
- 直射日光など、環境条件によって変退色の可能性があります。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにしてください。
- 製品により裏面の色が異なりますが、品質には問題ありません。
- ファブリックフロアを取外した後の下地（フローリングなど）が滑りやすくなったり、裏面の吸着材が下地に付着したりすることがあります。下地床材用の中性洗剤を染込ませた雑巾（マイクロファイバー製が有効）でよく拭き、その後、洗剤の拭取りをすることで軽減されます。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけてください。
- ワックスやコーティング剤が塗布された床材上への使用の場合、ファブリックフロアおよび副資材裏面に加工されている吸着材の跡が一時的に床材の表面に残ることがありますが、時間の経過とともに消えます。（ワックスの種類によっては取れにくい場合があります。）

東りは ISO9001 の認証を取得しています